

まつうら 市議会だより

第28号

平成25年5月1日

編集・発行

市議会だより編集委員会

電話 (0956) 72-0264

第1回
定例会



稚アユの放流
(4月12日 志佐川)



植樹会 (3月24日 星鹿城山)



議員定数を 1名削減

市議会議員定数条例を改正する議案が議員提案で上程され、議員定数19人を1人削減し18人とすることが議決されました。市の行財政改革推進とともに議会改革の一環として定数の見直しが行われたものです。次の一般選挙から適用されます。



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成25年 第1回定例会

平成25年第1回定例会を、3月1日(金)から3月18日(月)までの18日間の日程で開きました。

今回の定例会では、松浦市総合計画策定条例の制定など条例17件、平成24年度各会計補正予算15件、平成25年度各会計当初予算17件、その他の議案11件及び議員提出議案3件(市議会委員会条例改正、政務調査費の交付に関する条例改正、市議会会議規則改正)の合計63議案が上程され、いずれも原案のとおり可決するとともに、請願1件を採択しました。

最終日には、諮問1件が上程され、これを了承するとともに、議員提出議案3件(市議会委員会条例改正、意見書、市議会議員定数条例改正)を可決いたしました。

会期日程

3月1日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の施政方針

▽監査報告

▽請願の取下げ

▽特別委員会の中間報告

▽専決処分の報告

▽議案の上程・説明・質疑

・主管委員会付託

▽議員提出議案の上程・説明・審議

▽請願の受理報告・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

▽一般質問

7日(木)・8日(金)

9日(土)・10日(日)

11日(月)

12日(火)・13日(水)

14日(木)・17日(日)

18日(月)

▽委員長報告・採決

▽議案の追加上程・説明・質疑

▽議員提出議案の追加上程・説明・審議

▽委員報告・採決

▽議案の追加上程・説明・質疑

▽議員提出議案の追加上程・説明・審議

▽委員報告・採決

▽議案の追加上程・説明・質疑

▽議員提出議案の追加上程・説明・審議

▽委員報告・採決

▽議案の追加上程・説明・質疑

▽議員提出議案の追加上程・説明・審議

議会の傍聴に お出かけください。



次の定例市議会は

6月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンから視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsuura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へ

TEL(0956)72-0264

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は60分間以内(答弁、関連質問を含む。)という取り決めになっています。

今定例会では、3月4日から6日の3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所 議会事務局
- 市役所 各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



立 鈴
議員

一、農産物ブランド強化対策事業について
二、上志佐小学校の統廃合回避と保育所の安定運営を図るための新婚者専用市営住宅建設について

質問

一、メロン、ブドウなど農産物のブランド化を推進していますが、その選定の根拠及び指定後の恩典について伺いたい。

市内には有望な農産物が多く生産されている。イチゴ、ホオズキ、葉たばこやシキミなどは市場でも高く評価されている。御厨のシキミは、非常に土壌が合っていて光沢がよく、鹿児島、宮崎、静岡の特産地より優れていると高い評価を受けている。市は、ブランド化に向けて、一層支援をすべきだと思うが市長、担当課の考えを伺いたい。

二、上志佐保育所は、17年度に45人の園児がいたが、あと二、三年で20人を下回る人数となる。園児の約4割は校区外からの通園である。保育所運営の面からも早急に対策を講ずる必要がある。一時100人を超えていた上志佐小学校も、30年度には4学年が複式学級となる。田代、大崎、養源の小学校同様、統廃合を迎えることとなる。対策を講じて増員を図って頂きたい。新婚者向け住宅を建設し、園児、児童の増加を図るべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

答弁

一、ブランド指定は、栽培面積や栽培戸数が多いこと、販売金額が大きいこと、市場や消費者の認知度が高いこと、そして他の産地との差別化ができることの4点を品目要件とし、総合的に勘案して選定しています。ブランドの維持、拡大に対しては、農家に対応できないことがあれば、それなりの支援をしていきたいと思っています。

まだブランド化に至っていないものに対しては、市場と消費者の信頼が得られるよう、生産面と販売面でのような対策を講じたらよいのか、課題を抽出して生産者やJA等と協議を行い、その実践を通してブランド化確立の取り組みを進めたい。二、少子化の流れは全市的なものでもあり、市としても若い世帯の定住を基本に、有効な施策を打ち出さなければならぬと思っています。農村部の空き家とか民間住宅業者を活用し、自然環境が生かせるそういう地域に、住宅対策を行っていく必要があると考えます。市にとっても今後の大きな課題であると認識しております。

一般質問



富 吉
議員

一、中国大気汚染(PM2.5)松浦市の対策について
二、調川河川の整備改良について

質問

一、(1)中国からの飛来が問題になっている微粒子状物質PM2.5は、本市の市民にも影響があると考えられます。本市としての対応についてお尋ねします。

(2)市内の子どもたちにマスク配布を検討する考えはありませんか。また、環境省の指針では、大気中の濃度が高い日には、子どもや高齢者、疾患を持った人は外出を控え、屋内の換気や窓の開閉を必要最小限にするよう喚起しています。屋内の汚染も考えられます。空気清浄機の購入に対して、補助する考えがないかお聴きします。

二、(1)調川川に関しては、町民有志による河川愛護団体によって環境が守られておりますが、除草作業等を行うにも限界があります。川に堆積土があり、ダンデクが非常に多く茂り景観を悪くしている状態です。堆積土の除去を県にお願いして頂きたい。

(2)河川の管理という観点から、河川管理上の窓口となる市の立場として、今後の対応をお聴きしたい。

答弁

一、(1)市としては、情報収集や監視体制を強化する観点から、測定機の設置を国や県に対して要望していきたい。

(2)今後の飛散状況や他の自治体の対応策を参考にしながら、状況に応じた対策を検討いたします。

二、(1)調川川は2級河川であることから、維持管理は長崎県の県北振興局田平土木事務所が行っております。堆積土の除去に関しては、調川振興会からも要望されておりますので、その趣旨を県に進達しております。今後地域の見解を集約し、県のほうに要望してまいります。

(2)河川の環境整備に関しては、地元の方々の皆さまの御尽力によりまして、すばらしい川として管理頂いております。このことについては、市としてもお礼を申し上げますとともに、地元の方々の御努力に対しては、それにお応えできるような姿勢で対応してまいります。

一般質問



下久保
議員

質問

一、(1)学校のグラウンドは、子ども達にとっては元気の源だ。市内で整備が必要なグラウンドはどれくらいあるのか。また、多額の費用をかけても数年で使えなくなつては困る。費用対効果を考慮する上でも、改修後も予算を確保して維持する必要があると考える。教育委員会並びに市長の考え方を聴きたい。

(2)小中学校の施設は、地域の中で社会体育のための施設としても使われている。グラウンド利用者が使用できるトイレの整備が必要と考える。今後の取り組みはどうか。

二、離島住民にとつての航路は、国道や市道と同じという捉え方をすべきだ。市長の考えはどうか。

国土交通省の制度に離島運賃割引制度というものがある。是非その制度を活用し、離島住民の利便性の向上を図るべきだ。また、国の制度に乗らない飛島と黒島については、航路を市道と捉えて市の単独事業で取り組むことも出来ると考える。市長の考えを聴きたい。

その他に大気汚染の基準値超えなどについて質問しました。

一、小中学校グラウンド施設とその維持管理について

二、離島地域の交通費助成について

答弁

一、(1)現在、小学校6校と中学校1校が未整備の状況です。グラウンドの維持管理は、各学校においてPTAの奉仕作業や学校予算の範囲内で管理をして頂いております。また、車の乗り入れもしないよう指導をしております。

(2)外からトイレを使用することができないグラウンドが、青島小中、調川小、今福小の3校あります。学校の整備を行う際に検討をいたします。

二、離島航路は、国道という認識をもつて対応すべき課題であると思っております。県の離島振興協議会などにおいても、国道との認識のもとに要望活動が行われております。

離島運賃割引制度は、23年度に制度化され、離島住民の乗船料金を航路距離にに応じてバス料金と比較し、その高い差額を国、県、市が補助金として航路事業者に交付する制度となっております。市内航路の場合は、バス料金の方が高いところがあり、制度対象外であるため、現在、航路事業者と県とともに協議している状況です。まずは、この制度の活用を積極的に取り組んでまいりたい。

一般質問



安江
議員

質問

一、(1)放射能から身を守るには、事故発生時間、風速、風向は避難時の重要な点で、市民全員が知らなければなりません。この情報は避難誘導係にどのように届いていたのですか。その確認はどうだったのですか。

(2)SPED^{スピーディ}I^イの活用はどうでしたか。

(3)10条通報後の全島避難時に、先行モニタリングとなっており、これに出る職員の身の安全を守ることが大事ですが、それをどう考えますか。

(4)福島原発事故では、汚染水の管理と手抜き除染が問題となっています。除染水の後始末のマニユアルはどのようなものだったのですか。

(5)避難は伊万里市を通ります。伊万里警察との連携はどうでしたか。

(6)事故時に2万5千人の松浦市民を受け入れて頂く東彼三町の地元住民の方々の話はどうでしたか。

二、(1)大岳生産森林組合所有の山を組合員の高齢化と後継者不足から市が購入しましたが、その後の整備はどうなっていますか。

(2)山林地域の活性化、木質バイオマスの取り組みの現状はどうですか。

一、原子力防災訓練について

二、森林整備について

答弁

一、(1)防災無線で15条通報、原子力緊急事態宣言、その時の風向、風力を放送しました。放送のみで、確認はいたしておりません。

(2)活用されておりません。

(3)住民避難を優先して取り組みました。今後どのような形が市民の安全を守るのに適当か、優先順位をつけながら取り組みをしてまいります。

(4)昨年までの訓練では、汚染水と想定した除染水はタンクに保管するといった措置をとられていましたが、今回の訓練では、そのまま溝に流したとの報告を受けています。このことについては、県との訓練の協議の中で指摘をしたいと思います。

(5)長崎県警と佐賀県警で通過時間等の入念な打合せがなされており、(6)直接、住民の皆さんとお会いする機会はありませんでした。

二、(1)24年度に約4ヘクタールの利用間伐を行い、25年度も約5ヘクタールの利用間伐を実施する予定です。

(2)専門業者から調査提言を受けるとともに、森林資源利用研究会においていろいろな可能性について効果や採算性の検討を進めております。

一般質問



木原 議員

質問

一、志佐町中心市街地の地形は勾配もなく、海との高低差も少ない。近年、異常気象は多発しており、流末の排水機能は十分なのかと思う。水路の一部分だけの改良だけでは根本的な解決とはならない。今回の設計委託事業によって、どの範囲を調査の対象とし、現状の課題をどう認識されているのか。この事業全体の考え方についてお尋ねしたい。

二、昭和8年当時、国の鉄道敷設という大事業により、里道が通っていた丘を掘り切って鉄道が敷設された。里道機能の代替施設として跨線橋が架けられたが、今、80年の年月を経てその橋は老朽化で危険となり、機能を廃せざるを得ない状況である。当時、事業に協力した関係者だけが、今となつては一方的に不利益を被ることとなり、理不尽極まりない思いがしてならない。そこを列車が走っている現状に照らせば、里道の機能維持の責任は誰が果たすべきなのか。このことについて強く指摘をいたします。また、この件についての経緯について説明を頂きたい。

一、志佐町中心市街地の排水対策の概要について
二、法定外公共物の財産及び機能管理と今福町跨線橋の関係について

答弁

一、都市下水路を整備した当時の想定雨量も、現在では変化しているのではないかと予測されることから、昨年8月末から志佐地区洪水対策検討業務を実施し、志佐町市街地の全体を対象に下水路の流下能力の検証と浸水面積の範囲、対策工法及び概算事業費算出を行っています。都市下水路の改修に対しては、相当多額の経費が必要になると想定されるため、国の補助制度で施工できるように実施計画を立てたいと考えます。

二、この跨線橋は、里道の機能補償として鉄道側が建設したのですが、松浦鉄道に鉄道事業が引き継がれた時点では継承されず、松浦鉄道の所有物とはなっておりません。昭和42年当時の建設省通知によれば、旧国鉄の工事に伴う里道の付け替え施設は、里道管理者が管理することとされており、法定外公共物が国から市へ移譲された経緯からすると、この跨線橋は本市が管理すべき施設であると認識します。しかし、もっぱら参道として利用されている現状では、憲法上の政教分離の観点から、行政としては対処できない状況です。

一般質問



白石 議員

質問

一、(1)昨年末に自・公政権が誕生した。市長は、施政方針で述べた各種の政策を政権交代による経済政策の波に乗って、国や県の政策を取り込み大きく前進させるチャンスが来たのではないかとと思う。市長には、地域経済を発展させ、市民所得の向上を目指す、安全安心の市民主役のまち実現のために力を尽くして頂かなければなりません。市長の考えを伺う。

(2)国は、経済再生、公共事業投資、金融緩和、民間投資を喚起する成長戦略そしてデフレ円高から脱却しての経済を活性化させるといふ。国の補正予算13兆1千億円、新年度予算92兆6千万円が見込まれています。が、本市の予算や施策にどのように活かそうと思っているのか伺う。

二、(1)安倍政権が経済の次に重要視しているのが教育です。政権が進める教育にどう対処していくのか伺う。

(2)いじめ体罰の根絶に向け、どんな取り組みを行おうとしているのか。

(3)定住人口増の施策として、給食費の無料化に取り組んではどうか。

(4)児童生徒のアレルギー対策に、どのように取り組んでいるのか。

一、政権交代による松浦市政への影響について
二、教育行政について

答弁

一、(1)今回打ち出された国の政策には、国民も大きく期待をしていると思います。市としても国の政策を十分に取り入れて、市の喫緊の課題である西九州自動車道の問題、東高跡地への企業誘致、九電2号機の建設再開、鷹島神崎遺跡の問題など市政の発展に全力で取り組んでいきたい。

(2)国の今回の大型補正予算は、日本経済再生に向けた緊急経済対策ということで新年度予算も含めて15か月予算と位置付けられています。市としても補正予算、新年度予算で国の補助対象となる林道、漁港、交通対策、学校改築、体育館改修、原子力避難施設等の整備を予定しています。

二、(1)今後の動向を把握しながら市の教育行政に生かしたい。

(2)未然防止、早期発見、早期解決により根絶するという姿勢で取り組んでいます。

(3)今年度から2人目の生徒から半額制度を実施しており、この効果を検証したい。現時点では継続します。

(4)調査の上、保護者や栄養士等と連絡を取りながら、対応した献立を作成しております。

一般質問



山岡 議員

質問

- 一、自民党政権になってからの国県に対する要望活動について
- 二、観光産業の振興について

答弁

一、今回、国の緊急財政支援の予算に13兆1千54億円が計上され、地方自治体の負担や民間負担を入れると総額で20兆2千億円規模の事業となり、長崎県へは500億円程度が配分されております。松浦市の現状と未来を考えると、今こそ市長のリーダーシップが必要と思われます。本市に大型の公共事業予算を獲得し、観光産業や伊万里湾環境改善などの新規予算獲得に向けて、市長として国、県に対し、どのような陳情や要望活動をされたのかお尋ねします。

二、(1)市長はいつも「鷹島町を観光の核にしたい」と言われていますが、どのような構想を持っておられるのかお尋ねします。

(2)アンテナショップは、松浦市の特産品のブランドを高め、併せて直接販売して頂くことを期待されているオープンだと思いますが、オープン以来、松浦市にどのような成果があったのかお示し頂きたい。

一、本市は大型事業を抱えており、国、県の支援を必要としています。積極的に知事や県議会議員、国会議員の方々、各政党本部、国の担当部局に出向いて要望を行っているところであります。これまでの結果として、県においても西九州自動車道整備促進、九電2号機早期建設再開、神崎遺跡等保存活用などを重要施策として取り扱って頂き、国に対して予算獲得に取り組んで頂いております。

二、(1)モンゴル村と国史跡の神崎遺跡や元寇関連の水中考古学に関する取り組みとグルメ観光を組み合わせて、これを大きくPRし、鷹島を本市の観光の核として位置づけ、観光産業の振興に取り組んでまいりたい。

(2)昨年6月26日のオープン以降の実績としては、食材販売に係る本市の食材仕入れ額は約690万円となっております。情報発信に関しては、テレビ、新聞、インターネットや雑誌など79件で取り上げられ、広告費に換算すると1千100万円ほどの効果が得られています。また、バスツアーにより2千62人の来市があり、約1千300万円程度の消費効果も得られています。

一般質問



水 議員

質問

- 一、福島大橋について
- 二、福島総合運動公園の児童遊具について

答弁

一、福島大橋の架橋に関しては、昨年10月発足の新福島大橋建設促進期成会において伊万里市長、伊万里市議会議員、伊万里土木事務所長そして長崎県県北振興局長の行政機関に対して、さらには地元選出国会議員に対しても要望活動を行っています。二月の県議会でも地元選出議員が福島大橋に関する質問と早期建設の必要性を説かれています。昨年まで、市長の言葉では時期尚早とのことでありましたが、そのような対応では時期を失しないかと思う。早急に市役所内に新福島大橋架橋検討チームのような組織をつくり、架橋に向けた活動を進めていくことを提起したい。市長の考えをお聴きします。

二、これまで数種類の遊具が設置されていたが、老朽化が進み危険との理由で撤去されたままです。町内の子どもたちはもとより、帰省時の子どもたちにとっても楽しみにしている遊具です。財政面の問題もあると思うが何とか盆までに復活はできないかお尋ねしたい。

一、御指摘がありましたように、市としても遅れをとらないような、しっかりとした対応をしていかなければならないと思っています。組織の設置に関しては、現時点では今後の動き等も見ながら検討する必要があると考えます。地元期成会との連携については、福島支所長の大きな役割として対応するよう指示をしたいと考えています。期成会と連携をして、多くの方々の御支援、御協力を得ながら、一歩ずつ前進するような取り組みをしていかなければと思っております。

二、福島総合運動公園の遊具は、町民のみならず町内外からの利用も多く、町民憩いの場所でもあり、各種イベント時には子供たちの格好の遊び場でもあります。どのような遊具が必要なのかを検討しているところですが、財政上の問題もありますので、全市的な公園施設整備事業として進め、財源を確保し、早く事業に取り組めるよう努力いたします。

一般質問



武 辺
議 員

一、松浦港廃棄物処理施設整備（御
二、松浦市立小・中学校適正配置
御厨地区準備委員会の協議結果と
学校跡地活用について

質問

- 一、(1)県道星鹿港線拡幅工事の今後の予定は怎么样了っていますか。
- (2)埋立地の活用を「御厨地域が持つよりも市のためになる活用をしなければならぬ」との答弁でしたが、何か計画や腹案があるのですか。
- (3)埋立地活用を検討する協議会の立ち上げなどを具体的にお知らせください。
- 二、(1)御厨地区準備委員会の協議結果をお知らせください。
- (2)乗合バスで対応できない個所をスクールバスで補うようになっていますが、ルートやダイヤはどのような内容になっていますか。
- (3)統合を控えた児童に対しての心のケアは、どのような取り組みを行っていますか。
- (4)跡地活用について協議をされているメンバーの構成は怎么样了っていますか。
- (5)具体的な活用策は出ていますか。行政からの提案等はされていますか。
- (6)校舎の解体時期はいつ頃ですか。
- (7)地元の方の要望があれば、校舎を解体せずに活用するというのもあり得るのですか。

答弁

- 一、(1)県からは事業採択の報告があり、今後、測量調査が実施されます。
- (2)御厨星鹿地域の活性化と市の発展につなげるような利用計画を立てていくべきです。今、具体的な腹案はありませんが、御提案があれば実施できるよう取り組んでいきたい。
- (3)25年度に入り次第早い時期に、地域振興会等や専門的知識を有する方からなる検討会を立ち上げたい。
- 二、(1)協議結果がまとめられ、校名は御厨小学校とする、校歌は新たに制定する、通学は徒歩を基本として乗り合いバス又はスクールバスを利用することなどが定まっております。
- (2)木場、西木場地区について、登校に1便を、下校に3便を準備したい。
- (3)学校の交流活動を通じて、子どもたちの不安解消に取り組んでいます。
- (4)地域振興会や地域で活動されている団体等の方で構成しております。
- (5)具体的な活用策は出ていませんが、体育館を活用したいとの意向が示されています。市としての活用策は、今のところありません。
- (6)統合後に検討してまいりたい。
- (7)あり得るかも知れません。

一般質問



高 橋
議 員

一、松濤奨学金制度について
二、体罰について

質問

- 一、(1)福島町での中島徳松育英会は昭和32年、故人の遺産1千5百万円（今日の貨幣価値では約3億8千万円）の寄附により設立された。平成18年の合併時に約4千700万円が松濤奨学金基金に繰入れられ、中島徳松という名前も消えた。この浄財を原資に、松浦高校支援に充てるのは育英会設立の趣旨に外れてはいないか。
- (2)中島徳松翁の遺徳は顕彰されるべきである。奨学金貸与時にこの奨学制度の成り立ちや篤志家の思いを周知すべきである。松濤奨学金の名称を変える動きがあるが、松濤中島徳松奨学金という名称にしてはどうか。
- 二、体罰は、教師や指導者がやることであるから、みんなが本気になれば根絶できる。体罰を受けた子供は成長して体罰をする傾向にある。体罰の連鎖は断たねばならない。
- (1)具体的に懲戒の範囲内か体罰かを教育委員会が示すべきだがどうか。
- (2)体罰根絶は外部指導者へもお願いすべきである。また、体育協会への要請をしてはどうか。
- (3)体罰根絶に向けて、教育長の考えを示してほしい。

答弁

- 一、(1)松浦高校支援に充てたいという発言は松濤奨学金を財源とするという考えからです。中島徳松育英会から引き継いだ資金を限定して使うという趣旨ではありません。松濤奨学金の運用額は6千万円程度あり、この資金で松浦高校の支援に活用できると考えます。
- (2)現在、貸付条件の見直し等を含め、内部で検討を行っております。松浦市の奨学金であるということがわかる名称にしたいと考えております。
- 二、(1)体罰かどうかは、目的、形、継続時間から教育的指導の範囲を逸脱していないかで判断します。教育のためなら、ある程度の力の行使が許されると考えるのは間違いです。判例も厳しい姿勢をとっていることに留意する必要があります。
- (2)校長会の折に、各校長から指導者に話して頂くようお願いしています。また、体育協会には、会合の際に出向き協議することが大事と考えます。
- (3)時代と社会の環境の変化を理解し、指導者が子供の個性を熟知しながら関わっていくことが大切だと思います。

一般質問

吉原
議員

質問

一、市道は、本来市が改良や維持管理を行うべきだが、池成地区では自分たちでできる範囲で、集落のみんなが力を合わせ、通行しやすい道直しに取り組んでいる。だが、本格的な設計や土木工事が必要とするところは、市で行って頂かなくてはなりません。両市道の接続する地点は急勾配で、バスは進入できず狭い道をスイッチバックしなければならない。本市の重要施策である体験型旅行事業を推進する上でも、交通の安全性は最優先である。早急な改良を強く要望するが、その対応を伺いたい。

二、(1)旧西肥バスターミナル跡地活用について、市長は12月定例会の一般質問で「早い時期に何らかの活用を見出すように、積極的に取り組んでまいります」と答弁をされたが、その進捗状況を聴きたい。

(2)西肥バスとしては、3台分の駐車場と乗務員の休憩所の確保が必要だとのことだが、市は積極的に協力すべきと考えているのかお尋ねする。

他に県原子力防災訓練における避難受け入れ先自治体との協議等についてなどを質問しました。

一、市道高野栢木線と市道橋の本上
二、旧西肥バスターミナルの今後の
利活用及び解体についての協議の
進捗状況について

答弁

一、御指摘の接続部の改良については、地区からの要望もありましたので、改良できるかの検討を行っております。地形的に非常に困難なところではありますが、改良可能なルートのためたき台をつくって、地区にお示しし協議をさせて頂きたいと考えています。

二、(1)西肥バスとしては、利用する計画はないとのことですが、現在、駐車スペースや乗務員の休憩所の確保について社内で検討中とのことですが、市も現段階では、土地、建物を取得する計画はありませんので、民間による売買によって跡地の活用をお願いしたいと考えております。

一日も早く解決がなされて、有効活用につなぐということについては引き続き努力してまいります。

(2)西肥バスが、土地を売却して頂くことが前提条件だと捉えています。市もこのことについては、できるだけの協力や対応をしたいと考えています。

一般質問

久枝
議員

質問

一、(1)平成28年度から5年間で交付税が10億円削減される。壱岐市でも20億円が削減されることから、若手職員で壱岐市歳入確保対策会議を組織し、歳入確保策などを市長に提案している。本市では、歳入確保等に関して風通しのよい意見を取り入れる体制づくりはとられているのか。

(2)28年度には、別に10億円の一般財源の不足も見込まれている。市民サービスを落とすことなく、子どもを育てやすく、仕事やスポーツ施設にも恵まれた、そのような住みよい松浦をつくるためにどのような施策を進めていくのか。

二、(1)鷹島大橋架橋前のカーフェリーへの補助金交付額は幾らか。

(2)補助金を安く設定することに関して国や県と交渉したことはあるか。

(3)自動車航送運賃を安くすれば乗車率はよくなり、補助金額も少なくなるのではないか。

(4)大橋が架かる前の利用台数は幾らか。

(5)国や県と協議する必要があると思うがどうか。

(6)総合的な支援体制とはどんな意味か。

一、交付税10億円削減に対する歳入
確保対策について
二、鷹島両航路の車賃を2分の1、
薄利多売にして利用率を伸ばすこ
とについて

答弁

一、(1)職員の提案制度等を有効に活用し、効果があるものであれば全庁的な取り組みを強化していきたい。

(2)総合計画に掲げる「次代をはぐくむ産業創造都市まつうら」の実現に向けて、活力と希望のあるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

二、(1)架橋前の補助金額は、阿翁御厨航路には、国4千450万円、県150万円、市700万円が、殿之浦今福航路には、架橋以前は黒字でしたので、県150万円と市の飛島寄港補助金290万円が交付されています。

(2)殿之浦今福航路は、架橋後に赤字が膨大になったことから、国庫補助指定の働きかけを行いました。

(3)現行料金が安く設定されており、国の基準により現状では困難です。

(4)利用台数は、20年度で4万9千678台、架橋後の直近で4千271台となっています。

(5)赤字航路について、フェリー小型化や航路再編の協議を進めています。

(6)福祉部門の通院運賃補助等の支援事業や高校通学補助、国の離島住民運賃割引制度等を総合的に活用して支援を行うということです。

常任委員会の審査概要

総務委員会

★議案第32号 平成25年度松浦市一般会計予算（関係分）

住宅用太陽光発電システム設置助成事業費補助金720万円が計上されました。時代にマッチしたクリーンエネルギーの取り組みが期待されます。保護者の負担軽減と入学生徒の確保を図るために松浦高校支援プロジェクト事業費854万3千円が計上されました。主な内容は、生徒確保支援事業（入学準備金、下宿費補助金、市内航路通学費補助金）、通学・就職支援事業（模試や資格試験の受験費等の補助金）、部活動強化対策事業補助金が補助項目として掲げられています。

★議案第1号 松浦市課設置条例の一部改正について

本市は、玄海原子力発電所からは30キロメートル圏（緊急時防護措置を準備する区域（UPZ））内に入り、原子力防災に特有な対策を普段から講じておく必要があることから、防災課が新たに設置されます。

文教厚生委員会

★議案第32号 平成25年度松浦市一般会計予算（関係分）

地域密着型介護老人福祉施設整備補助金5千800万円が計上されました。これは、定員30人未満の小規模介護老人福祉施設に対して、入所者の日常生活上の世話や機能訓練などの介護サービスを提供する施設整備を対象とする事業費補助金です。

高齢者等わくわく・おでかけ支援制度の助成内容が拡充されました。対象者に重度以外の障がい者が追加され、文化会館の自主事業入場料にも使用できます。申請時には温泉優待券があわせて交付されます。

学校適正配置に係る御厨地区のスクールバス購入費として660万7千円が計上されました。御厨地区は、平成26年度に統合が行われる予定です。

★議案第60号 平成24年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

星鹿小学校校舎改築事業に4億8千217万2千円、青島小中学校屋内運動場大規模改修事業費に1億405万2千円がそれぞれ計上されました。

産業経済委員会

★議案第32号 平成25年度松浦市一般会計予算（関係分）

地域総合整備資金貸付金2億7千500万円が計上されました。これは、地域振興に資する事業を実施する民間事業者に対して、事業経費の一部を無利子で貸し付けるもので、市が地方債を原資に財団法人地域総合整備財団の協力を得て実施されます。

東部工業団地への企業誘致を有利に進めるため、今福地区に住環境の整備を図る目的で定住促進住宅整備事業の測量調査設計費2千607万円が計上されました。

市道整備については、1億9千828万円が計上され、起債事業と交付金事業により8路線の整備が行われます。

★議案第18号 平成24年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

青島地区に計画されていた製氷貯氷施設整備事業補助金は、国の補助要件である稼働率の向上が見込めず交付の対象から外れ、4千125万円が減額補正となりました。委員会としては、次年度以降の設置に対しては慎重に対応するよう要望しました。

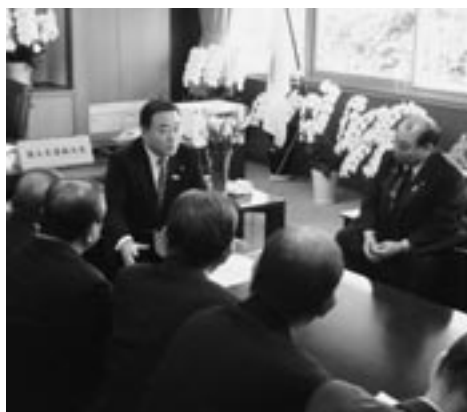
傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役所5階の傍聴席入口にある傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入して入場してください。

傍聴席での飲食・喫煙は禁止されています。また、録音・写真撮影・ビデオ撮影等は事前に許可を必要とします。





国土交通省への要望

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、1月30日、31日に国土交通省、財務省及び自民党本部並びに長崎・佐賀両県選出国會議員に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の早期完成、松浦佐々間の早期事業化及び道路整備の安定的な財源確保について要望活動を行いました。

道路網整備促進 特別委員会

特別委員会の動き



国会議員への要望

続いて、2月1日に特別委員会を開催し、西九州自動車道のアクセス道路整備について、理事者と合同で県に要望活動を行うことを決定し、国道204号から松浦インター（仮称）へのアクセス道路と一般県道上志佐今福停車場線から今福インター（仮称）へのアクセス道路の整備について、県営による事業化をお願いしました。

2月7日に県北振興局長に、2月8日には友田県議同席のもと知事と県議会議長に対し要望を行いました。



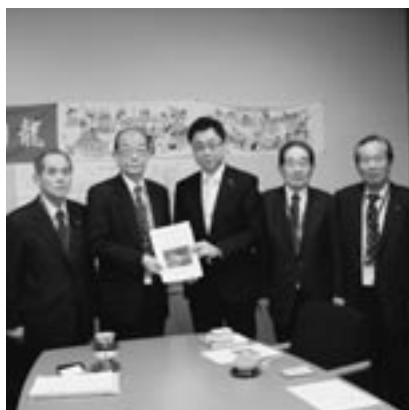
去る2月14日、正副委員長と市議會議長が、市長とともに経済産業省大臣官房審議官及び資源エネルギー庁電力基盤整備課長と面談し、九州電力松浦発電所2号機の建設再開に関する支援を要望するとともに意見交換を行いました。翌15日には環境・原子力防災担当大臣政務官秋野公造氏をはじめ環境や資源エネルギーなどを担当される国會議員の方々を訪問し、2号機建設再開並びに石炭火力発電の重要性と石炭の高度利用等について要望しました。昨年の中央要望時と比べると、国の石炭火力発電に対する考えも前向きになっており、大きく前進しているとの手ごたえを感じました。

また、3月18日に委員会を開催し、引き続き国及び九州電力株式会社に対し、松浦発電所2号機の早期建設再開などについて要望活動を実施していく基本方針を決定いたしました。

九州電力松浦 発電所2号機対策 特別委員会



衆議院環境委員会委員長への要望



環境・原子力防災担当大臣政務官への要望



経済産業省への要望

2月	
1日	道路網整備促進特別委員会 議会運営委員会
6日	三重県議会議員・三重県 鳥羽市議会議員団視察来市
7日	長崎県市町村総合事務組 合議会 長崎県市町村行政振興協 議会理事会 道路網整備促進特別委員 会による要望活動
8日	道路網整備促進特別委員 会による要望活動 (佐世保市)
13日	議会運営委員会 (長崎市)
14日	松浦地区火葬場組合議会 定例会 (平戸市)
14日	北松北部環境組合議会定 例会 (平戸市)
14日	全国市議会議長会地方財 政委員会 (東京都)
14日	九州電力松浦発電所2号 機対策特別委員会による 中央要望活動 (東京都)
3月	
1日	第1回市議会定例会
18日	九州電力松浦発電所2号 機対策特別委員会
25日	松浦鉄道自治体連絡協議 会臨時総会 (佐世保市)
26日	長崎県市町村総合事務組 合議会 (長崎市)
4月	
11日	長崎県市議会議長会定期 総会 (長崎市)
18日	市議会だより編集委員会
25日	九州市議会議長会定期総 会 (鹿児島市)
18日	長崎県後期高齢者医療広 域連合議会定例会 (長崎市)
19日	長崎県市議会・町村議会 議長会合同協議会 (長崎市)
22日	議会運営委員会 (長崎市)



議案等の審議結果

予 算			
◎平成24年度松浦市一般会計補正予算 (第7号)	原案可決	□平成25年度松浦市青島診療所事業特別会 計予算	原案可決
□平成24年度松浦市青島診療所事業特別会 計補正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市鉾害復旧灌漑用水施設 維持管理事業特別会計予算	原案可決
□平成24年度松浦市国民健康保険特別会計 補正予算(第4号)	原案可決	□平成25年度松浦市国民健康保険特別会計 予算	原案可決
□平成24年度松浦市後期高齢者医療特別会 計補正予算(第3号)	原案可決	□平成25年度松浦市後期高齢者医療特別会 計予算	原案可決
□平成24年度松浦市介護保険特別会計補正 予算(第4号)	原案可決	□平成25年度松浦市介護保険特別会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市簡易水道事業特別会計 補正予算(第3号)	原案可決	◇平成25年度松浦市簡易水道事業特別会計 予算	原案可決
□平成24年度松浦市福島診療所事業特別会 計補正予算(第4号)	原案可決	□平成25年度松浦市福島診療所事業特別会 計予算	原案可決
□平成24年度松浦市鷹島診療所事業特別会 計補正予算(第4号)	原案可決	□平成25年度松浦市鷹島診療所事業特別会 計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市下水道事業特別会計補 正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市下水道事業特別会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市松浦魚市場特別会計補 正予算(第4号)	原案可決	◇平成25年度松浦市松浦魚市場特別会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市臨海土地造成事業特別 会計補正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市臨海土地造成事業特別 会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市工業団地造成事業特別 会計補正予算(第1号)	原案可決	◇平成25年度松浦市工業団地造成事業特別 会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市下水道事業会計補正予 算(第3号)	原案可決	◇平成25年度松浦市水道事業会計予算	原案可決
◇平成24年度松浦市交通事業会計補正予算 (第3号)	原案可決	◇平成25年度松浦市工業用水道事業会計予算	原案可決
◎平成24年度松浦市一般会計補正予算 (第8号)	原案可決	◇平成25年度松浦市下水道事業会計予算	原案可決
◎平成25年度松浦市一般会計予算	原案可決	◇平成25年度松浦市交通事業会計予算	原案可決

議案等の審議結果

条 例

○松浦市課設置条例の一部改正について	原案可決	□松浦市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	原案可決
○松浦市総合計画策定条例の制定について	原案可決	◇松浦市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
○松浦市総合計画審議会条例の制定について	原案可決	◇松浦市都市公園条例の一部改正について	原案可決
○松浦市実費弁償条例の一部改正について	原案可決	◇松浦市道路の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
□松浦市子ども・子育て支援対策地域協議会設置条例の制定について	原案可決	◇松浦市河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
□松浦市中心身障害者の福祉医療費の支給に関する条例及び松浦市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について	原案可決	◇松浦市道路に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について	原案可決
□松浦市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	◇松浦市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する条例の制定について	原案可決
□松浦市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	□松浦市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
□松浦市新型インフルエンザ等対策本部条例制定について	原案可決		

議員提出議案

※松浦市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
※松浦市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決
※松浦市議会会議規則の一部改正について	原案可決
※松浦市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
※松浦市議会議員定数条例の一部改正について	原案可決

請 願

○「年金2.5%の削減中止を求める意見書の採択」を求める請願について	採 択
------------------------------------	-----

諮 問

※人権擁護委員候補者の推薦について (星鹿町岳崎免 奥 野 幸 子 氏)	了 承
---	-----

そ の 他

□損害賠償額の決定について(2件)	原案可決
□松浦市火葬場の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦市農産物加工所の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦市鷹島農村環境改善センター・資材倉庫の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦市福島地域レクリエーション施設の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦市大山公園及び松浦市蛙鼻公園の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦市鷹島石工製品展示場等施設の指定管理者の指定について	原案可決
◇松浦交通センターの指定管理者の指定について	原案可決
◇今福交通待合所の指定管理者の指定について	原案可決
○長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎…各常任委員会(総務・文教厚生・産業経済)へ分割付託

※…委員会付託を省略し全員審査

○…総務委員会

□…文教厚生委員会

◇…産業経済委員会